

THE harmony between...

人 Human

技術

Technology

環境

Environment

総合設備のトップを目指す



URL: <http://www.kyudenko.co.jp>

当ページのコマーシャルコーナーに関するお問い合わせがございましたら、下記事務局までお願い致します。（掲載料￥30,000 奪ってご応募ください）

* * 編集後記 * *

先日、他の業界の機関紙に載せる会社案内の原稿依頼があり、10年ほど前にも寄稿したのでそれを参考にしようと古い機関紙をひっぱり出しました。変わったのは、資本金が150万円から1000万円に変わったこと。社長が私に変わったこと。従業員が37名だったのが現在は27名と大幅に減っていたこと。設備は更新されてまあまあ新しくなっていました。しかし一番びっくりしたのは、得意先が変わったことでした。売上の多い順にお得意さんを5社載せていました。ところが、その5社の内3社がもうこの世の中に存在せず、残りの2社も現在売上ゼロであることでした。

「変化するものだけが、生き残る。強いものでも賢いものでもない。」という進化論を唱えたダーウィンの言葉をその時思い出しました。強いものが生き残るとは限らない、賢いからといって生き残るとは限らない。変化に順応出来るものだけが生き残るのだと云うことです。最近の変化はダーウィンもびっくりするくらい、早く激しいものです。しかしそれでも会社は生き残らなければならないのです。

この「シートメタルふくおか」も変化しなければならないと思いました。



＜林 高満＞
日新産工(株)

ホームページ開設中

ホームページアドレス <http://www.fukuoka-sma.gr.jp>

ホームページ・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい

シートメタル ふくおか 第14号
(福岡県シートメタル工業会会報)

発行日 平成17年9月25日
発 行 福岡県シートメタル工業会
事務局 〒816-0093
福岡市博多区那珂6-25-15
(株)福岡アマダ内
TEL092-573-3655

〒800-0242
北九州市小倉南区津田1-1-3
(株)東九州アマダ内
TEL093-475-0220



今回の表紙

この写真は、京都府長岡京市にある、光明寺で撮影されたものです。この寺は、京都の中でも随一と言われるほど、紅葉が鮮やかで有名な場所として、多くの観光客が訪れるそうです。

表紙担当 早川和寿
(有)早川プレテック

メタリストを応援するネットワーク情報誌

FUKUOKA

シートメタル ふくおか

第14号

2005
秋号



-CONTENTS-

- ＜特集＞愛知万博“愛・地球博”体験記… 2
企業探訪 ……………… 3
工業会のお知らせ …… 4・5

- 会員紹介PR ……………… 6
鉄人俱楽部・雑感 ……………… 7
コマーシャルコーナー・編集後記 8

－<特集>愛知万博“愛・地球博”体験記－ 『汗と泪と5つの試練』

当工業会の平成17年度事業計画の行事である『工場視察研修』を会員相互の親睦と他工業会との交流を兼ねて、愛知県精密板金工業会会員企業の(株)日洋工業様の工場視察と“トヨタ博物館”及び“愛知万博”的見学会を、さる6月3日より4日の二日間にわたり、20社34名のご参加を賜り開催いたしました。ここでは特集として、汗と泪の“愛・地球博”体験レポートをお送りしたいと思います。

朝7時30分ホテルの玄関前、私達北九州軍団のテンションは早朝より完全に下がっていた。その理由はサッカーという今や国民的人気スポーツ(?)に理由があった。W杯アジア最終予選第4戦、バーレーン戦は日本時間6月4日午前1時35分にキックオフされた。第3戦イラン戦を落とした日本にとっては絶対に負けられない戦いである。この運命の一戦をTV応援すべくサッカーハークの私は、北九州軍団の下菌社長、原田社長、大和常務、アマダの安部さん、そして福岡軍団より出張参加のイトコー江口工場長の面々で深夜の部屋に集合し、コンビニで買い込んだ酒とツマミで観戦した。試合は前半の貴重な先制点を守りきりアウェーで大きな勝

点3を奪い、この後の最終予選突破のターニングポイントとなった。午前3時30分終了。試合には勝ったが、お陰で早朝より我々は完全に負けの状態であった。

さておきバスは万博会場へと着いた。と思いきや、どんどん入場ゲートとは程遠い方向に行くではないか?何でも環境博ということで、排気ガスを出す乗り物は会場近辺には近づけないとのこと。駐車場より入場ゲートまで、ただひたすら歩く! (第1の試練)、そして入場ゲート到達も長蛇の列。ただひたすら待つ! (第2の試練)、そして無事入場も人気パビリオンはすでに長蛇の列。2時間待ちはザラ。なえて朝より一杯飲む事に。予約のパビリオンのみ見て、後はウロウロ歩き回り、暑さと疲労で体力は限界(第3の試練)、電動の列車にて会場内を移動しようにも、それも1時間待ち、どこかで食事でもしながら体力回復狙うも、どこも満席。そこで安永企画推進委員長に伝授された中国マッサージ店を探す事に。希望を抱き4000年の歴史へと! あつた! しかし何と60分1万円也(ムッ高い!)しかし体力はすでに限界。下菌社長、大和常務と施術を受けることに。それなりに生き返りはしたがやはり高い!(第4の試練)、そうこうして内に帰りの時間が近づき、又延々とバスまで歩くことに。おまけに今度は雨が降ってくる始末。バス到着時には再び体力の限界に(第5の試練)。

この万博は35年ぶりに国内で開催される国際博覧会で、「自然の叡智」をテーマに21世紀の自然と人間との関わりを探求し、提案していくこと。自然との共生は人類共通の課題であり、本博覧会はその解決に寄与できるものであり、その成果の一部は終了後も永続的に「地球の財産」として残ると謳っております。又この記事を書いている今日、8月18日、万博協会が目標としていた累計入場者数1500万人を会期を1ヶ月余り残して達成したこと。

役人の博覧会事務局への天下り、会場工事の環境破壊、前売り券の企業への押し付け、お弁当持込問題、ペットボトル、長蛇の各待ち列、熱中症等、様々な諸問題が言わわれ続けていますが、大イベントとは、多かれ少なかれ、こういうものではと思います。将来、この博覧会を行ったということを土産話に、この5つの試練をしばらくは酒の種にして楽しみ(苦しみ?)たいと思います。



万博会場内



トヨタ博物館にて集合写真

<記事担当・鶴元清一郎>
(有)鶴元製作所

企業探訪 第14回 有限会社 ユー・アイ技研

福岡県シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させていただくシリーズ第14回は、初めて県外の会員、熊本県荒尾市の有限会社ユー・アイ技研の宮本健司専務にお話を伺いました。

Q:ご創業と沿革をお聞かせください。

A:平成2年4月にプレス工場に勤務していた父、寛が最初はプレス加工と溶接をメインに創業、そして平成3年の秋くらいから板金を始めました。その頃、私はまだ学生でしたが、よく父の仕事を手伝っていた覚えがあります。その後、平成5年に父が他界し、社長を現社長の母、昭子が継承、わたしは京都での修行後平成7年に入社しました。

そして平成13年に現在の工場を新築、移転し現在に至る。といったところです。

Q:御社の業務内容、特色を教えてください。

A:業務内容としては、サッシメーカー数社の建築金物、建築用板金、塗装、IT関連製造装置部品等、精密板金全般ですね。特色は、現在26名体制で、月並みではありますが、シャー、レーザー、タレパン、プレスブレーキ等を駆使しお客様からご要望の製品を月間約4000種類、個数にして約3万個の製品を生産する多品種、小ロット、短納期を実現しているところでしようか。

Q:今後の展望、夢をお聞かせください。

A:今年8月にはISOも無事取得し、今後は高精度の製品にシフトしていきたいと考えています。その為にも板金検定などを使い人材の育成に努めていきたいと思っています。若い人材が多いので実現できると確信しています。もうひとつは今少しづつ進めてはいますが、熊本の板金業界の若い経営者とネットワークを構築し、研修や人材の高度化を共同で行える組織作りをし、熊本全体のレベルアップを図ると同時に共同受注等のシステムが出来ればと思っています。

*ドライブが趣味とおっしゃる若い宮本専務、熱心に現在の事、将来の事をお話をいただきました。将来、熊本の板金業界のリーダーとなるのも確実! 今後の活躍を期待します。



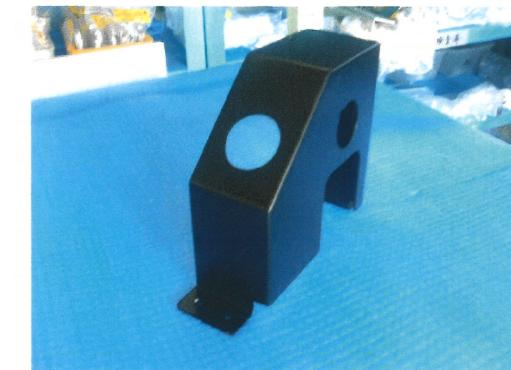
宮本専務



会社玄関



工場内の作業風景



FA装置のカバーの一部

<会社概要>

(所在地)
熊本県荒尾市水野1725-18
(電話) 0968-64-9050
(FAX) 0968-68-8050
(商号) 有限会社 ユー・アイ技研
(営業品目)
精密板金・プレス加工・製缶組立・他建築資材

<取材:安永修>
(株)ヤスナガ

工業会からのお知らせ

第7回国内研修旅行(工場視察)開催される!

平成17年度当工業会の目玉行事のひとつである国内研修旅行(工場視察)が今年6月3日(金)から4日(土)までの2日の日程で開催されました。

今回の研修旅行は、今日本で一番元気と言われている中部地区の先進企業を見学させていただくとともに、会員相互の親睦を深めることを目的に、経営部会により企画されたものでした。

参加者は、高橋会長「ヒット(株)」を団長として20社総勢34名。

開港早々の中部国際空港セントレアから万博絡みの大渋滞をすり抜けて、安城市の精密板金加工会社(事業内容は、コンピューター部品、筐体組付、複写機、産業機械加工部品、電子機器部品)で、従業員70名の「(株)日洋工業」様を訪問させていただきました。常に地域の先駆けとなり極限を追い求めるという強い志をお持ちの名知会長、名知社長様。その下で、9台のNC加工機を効率的に運用されて、材料ロスを極限まで抑え加工しておられる従業員の皆様。

さすが世界最強のトヨタのお膝元でもまれている会社と感心しきりでした。

世界最強の中部地区でもまれている会社のオーラに圧倒されながらも、先進の技術をつかみとろうという意欲と緊張感を持った、有意義な旅行を送ることができました。

参加者の皆様本当に疲れ様でした。

また、他の会員の皆様も来年度は是非ご参加お願いいたします。



工場見学中の会員の皆さん



見学後質疑応答風景

<記事担当・田名部 徹朗>
(株)三松

プレス金型取付調整特別教育

(実施日) 平成17年7月9日(土) 参加者: 6社28名

平成17年7月30日(土) 参加者: 6社20名

(会場) 糸魚川市須恵町のボランティアセンター

(講師) 馬場リリーフエンジニアリング 馬場 政弘様

(内容) ①関係法令
②プレス機械の種類・構造
③安全装置・安全囲い・点検整備
④プレス機械金型点検・取付け・調整及び取外し



授業風景

九州金属プレス工業会と協賛にて座学を中心として実施しましたが、参加者が多かった為、2日間に分けて開催となりました。

リーダー研修会

(実施日) 平成17年7月8日(金)~9日(土) 参加者: 10社17名

(会場) 大栄大宰府研修センター

(講師) タクボ経営工学研究所
神奈川県立産業技術短期大学校・非常勤講師
経営コンサルタント 田久保 八郎氏



各グループで課題発表

(内容) ①組織と人間関係

- ②職場でのヒューマンエラー防止策
- ③職場でのヤル気の出させ方
- ④職場内におけるリーダーの役割
- ⑤VTRを観て感想をレポートにまとめ、グループにて討議して発表する。

今回のリーダー育成研修会は、福岡県シートメタル工業会として昨年に引き続き現地開催にて実施致しました。

テーマとして「エラーをなくし、生産性を高めるリーダーの役割」で、組織論からエラーの要因と防止策・職場でのヤル気の出させ方・職場内におけるリーダーの役割について講義は進められました。

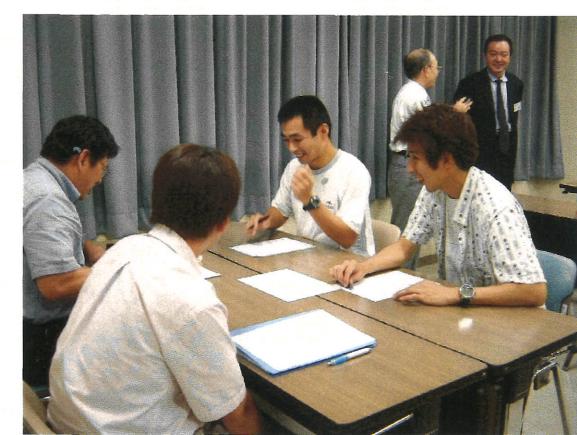
カリキュラム毎に小グループに分け、VTRを観ての各人の感想と、自分の会社として考えた場合などを各受講生はレポートにまとめ、グループで討議を行い、グループ単位で発表を行いました。

受講生の研修終了アンケートによれば、全員の方が研修会内容に満足されています。しかし、講義時間が少し長く、グループでのディスカッションをもっと多めにしてほしいとの要望などもありました。

全体的には、研修内容及び講師に対して良かったと思われており、リーダーとしての責任の重さと役割を再認識されている様でした。

受講生は20代(4名)・30代(10名)・40代(2名)・50代(1名)と幅広い年齢層の方々の参加でしたが、時間の経過とともにグループ内では年齢を越えた熱のこもった討議も見受けられました。

又、研修会修了後に改めて名刺交換をしている方々もお見受けし、工業会としてのコミュニケーションも図れたのではないかと思います。



グループディスカッション

会員紹介PRコーナー

各会員の情報交換の場としての企業PRコーナーです。南部地区から順番に県内の会員を掲載してきましたが、今回は県外会員3社のPRです。工業会会員相互のネットワークとしてお役立て下さい。

N 有限公司 中村製作所

代表者	中村 敬明	窓口担当者	中村 敬明	TEL	0958-82-5688	FAX	0958-82-7086
住所	長崎県西彼杵郡時津町浜田郷611-1	E-mail	w-akass@basil.ocn.ne.jp	URL	http://www2.ocn.ne.jp/~w-nakass/		
主な製品	計装盤・制御盤・冷熱部品						
主な設備	パンチングセルライン・プレスブレーキ・シャーリング(リターンコンペア付)・アイアンワーカー(NC付)・塗装・粉体塗装設備(ライシング)						
会社の特徴 伝えたいこと	①設計能力を強化し、板金加工から組立作業までの一貫作業体制 ②高速道路より川平有料道路を経て35分、長崎空港より35分						
工業会や工業会の皆さんへメッセージ	設備の近代化を進め、顧客の要求する品質、価格、納期を満足させる為、全力を注ぎます。たえず社会ニーズを的確にキャッチ、判断し、堅実にしかも意欲的に取り組んでいます。長崎と言う地域がらなかなか皆様と交流する機会が少ないので残念です。今後共よろしくお願いします。						

U 有限公司 ユー・アイ技研

代表者	宮本 昭子	窓口担当者	宮本 健司	TEL	0968-64-9050	FAX	0968-68-8050
住所	熊本県荒尾市水野1725-18	E-mail	yu-ai@u-i-g.co.jp	URL	http://www.u-i-g.co.jp/		
主な製品	精密板金加工、ビルサッシ向け建築用板金部材、大型トラック架装フレーム板金等						
主な設備	シャーリング(8尺まで)、セットプレス、タレパン、(4' X 8')、レーザー(4' X 8')各1台、プレスブレーキ(4m)1台、プレスブレーキ(8尺)2台、自動プロ2台、半自動溶接機6台、吹き付け塗装用ブース						
会社の特徴 伝えたいこと	スチール、SUS、アルミはt=1~3までは常時場内に在庫しておりますので、受注後の迅速な対応ができます。多品種・小ロット・短納期に対応できる『板金加工のトータルコーディネーター』を目指し、全スタッフ一丸となってがんばっております。ISO9001認証取得も大詰めの段階です。						
工業会や工業会の皆さんへメッセージ	熊本から参加させていただいている事を活かし、これから福岡と熊本の連携、ひいてはそこから広がる九州全体のネットワークの一翼を担い、次代の若手経営者の橋渡し役となれたらいいと大それた事を考えています。(宮本健司)						

J 有限公司 真和ステンレス工業

代表者	野口 寿郎	窓口担当者	野口 寿郎	TEL	096-358-5757	FAX	096-357-0281
住所	熊本県熊本市近見8-11-57	E-mail	shinwsus@helen.ocn.ne.jp	URL			
主な製品	ステンレス・アルミ・真鍮等によるパネル・幕板・看板・手摺・面格子・門扉・流し台・アートパンチング・その他建築装飾金物の特殊製品を設計・製作・施工						
主な設備	プレスブレーキ6m・シャーリング4m・プレーナー6m・コーナーシャー・アイアンワーカー・スポット溶接機・CNCターレットパンチングプレスVP367・アートパンチング等						
会社の特徴 伝えたいこと	ステンレス・鉄・アルミ・その他の金属の曲げ加工・溶接加工・看板・案内サイン・建築金物・建具なども設計製作しております。						
工業会や工業会の皆さんへメッセージ	当社は、よりよい製品を短納期で納品できるよう日々努力しております。						

雜感

総務・労務担当として日々思う事

私は総務及び労務を担当しております。出勤簿、出張把握、労災保険、社会保険、雇用保険、元請ゼネコンへの安全書類、社員の健康管理、労務相談、営業会議経営会議等の議案書作成、受注見通しの生産管理予定表作成等々、業務は多岐に亘っております。

総務担当という仕事は、数字的な目標値が明確にあるわけではなく、どこまでという区切りもなく、曖昧な部分があります。特に労使間の対応や相談事等はその部分です。

常日頃社員への仕事上の指導は直属上司がやりますが、その人が順調な時ばかりではなく、例えば山と谷でいえば、谷の部分に入る時があります。その部分に入った時、対応するのが私の役目であると考えています。その人が元通り仕事に頑張れる環境に戻ることができるよう、手助けできれば自分なりに思っています。

しかし若い年代の社員の中には、それが当然と受け取

られる方もあります。

世代がかなり離れてくると、価値観や会社への帰属意識の持ち方、考え方には違いが見られる上、個人的に接触する時間も少なくなり、理解するのが以前からすると難しくなっている気がします。

それでも、家族のこと、子供のこと、親のこと等を、社員との雑談の中から引き出し、配慮しながら話すよう心がけています。

それは、労務担当として対応する中で、その事が非常に大きな要素であり、大切な事と考えています。

その事が災害発生対応においても、特に重要になります。重篤災害は発生させないのが私達会社の責務ですが、その場合の対応については、どうしても会社としては自己弁護、擁護的な立場から、労働基準法、労働安全衛生法等を主觀的にあてはめて考えがちになります。

私は自分の子供だったら、自分の配偶者だったらという、

鉄人俱楽部⑯ アオギリは枯れず

～ヒバクシャ・沼田鈴子の戦後60年～

戦後60回目の夏。家族でヒロシマを訪れた。8月6日が原爆の日であることを知る日本人は今、どれ位いるのだろうか。若い頃、広島で過ごした私も又、14年ぶりの8・6だった。

沼田鈴子さん81歳。今も尚、原爆を語り続ける被爆者である。爆心地から1km、旧広島通信局で被爆した彼女の人生は、一瞬の閃光



沼田鈴子さん＝広島市在住、81歳。
20年以上、広島を訪れる修学旅行生など相手に被爆体験を語り続ける。その地道な証言活動は国内外のみならず、世界数十カ国に及ぶ。

により激変した。原爆症で生死を彷徨う日々。婚約者の戦死。そして片足の切断。何度も自殺を考えたが、そんな彼女の心の支えとなつたのが、一本のアオギリとの再会だった。木の幹が深くえぐれ、焦げ跡が消えない痛々しい姿。しかし、傾いても尚、アオギリは緑の葉をつけ、平和公園の一角で今も生き続けている。実は、あの日、このアオギリは沼田さんが被爆した旧通信局の庭に植えられていた。彼女と同じ場所で閃光を浴びたのである。「アオギリは、私の分身なのよ。」沼田さんは被爆後、ずっとそう語り続けてきた。自ら松葉杖をつきながら、片足で歩く沼田さんとアオギリ。両者は、まさに60年間を共に歩いてきたのである。しかし、今回お会いした時、沼田さんは車椅子姿だった。明るくて屈託のない笑顔は、昔のまま。でも、心なしか、握手をした手が細くなつた気がした。彼女は「訪ねてくれてありがとうございます」と言いながら、息子達の頭を何度も撫でた。天使の様な人だと思った。

平和公園の被爆アオギリ。今、そ

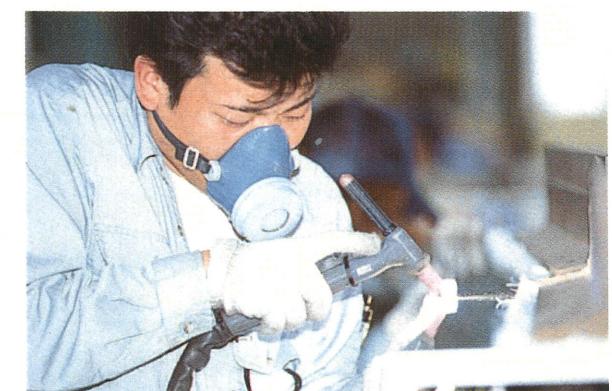
の横には根を張って、新たに芽吹いた2世の木が育っている。沼田さんの一番の喜び。その前で、息子の写真を撮影しながら、ふと沼田さんの言葉が浮かんだ。「私はね。アオギリの種をまいているのよ…」私の息子達が通う小学校では今年、夏休みの平和学習がなくなつた。なんだか…とても腹が立つ。



平和公園に植えられた親子アオギリと息子。右手上に小さく見えるのが被爆2世のアオギリ。

＜取材・大和啓介
三和金属(株)

ZAKKAN
日々、労務担当としてこのようにありたいと思いながら、時は過ぎ年を重ね、反省の毎日です。



＜記事担当・辻 幸男>
(株)新栄製作所